

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
CEDPPR1382	[月5]教313		抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	前学期	月5	地域共創研究科地域共創専攻
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
C00281001	沖縄政治行政研究 I	2	
担当教員[ローマ字表記]			
島袋 純			

授業の形態

講義、演習又は実験

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

施政権返還後の沖縄の統治システムを中心に講義する。
特に1972年前後の、沖縄振興開発体制の構築と、第一次振興開発計画～三次計画の次期に焦点を置く。

授業の一部にRBC、QAB,OTV等の、地元放送局が作成した歴史ドキュメンタリー番組を用いる。
文字と口頭による説明だけでなく、聴覚視覚、あるいは5感全体で学びとることができる授業、
さらにグループ学習、対話型学習、話し合い学習を中心とする授業を目指すものとする。

URGCC学習教育目標

自律性、社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、問題解決力、専門性

達成目標

以下の学習テーマ及び学習課題について、関心を持ち意欲的に取り組むことができ、
多様な資料の価値を判断してそれらについて深く思考し、沖縄の政治行政について理解を進め知識を習得するとともに、
得られた知識を表現できる技能を持つことを目標とする。

- 1, 「琉球処分」とは何か、日本による沖縄の統治の
- 2, なぜ米軍が沖縄を直接統治することになったのか
- 3, 米軍による沖縄統治とGHQによる日本統治とはなにがどう違うのか。
- 4, 米軍支配下の沖縄の統治構造はどうなっていたのか。
- 5, 米軍支配下において沖縄の人々の暮らしはどうなっていたのか。
- 6, なぜ復帰運動が起こったのか、その本質は何か
- 7, 日米両政府は、なぜ沖縄の施政権返還を実施したか、その目的は何か
- 8, 沖縄の施政権返還の本質的目的は何か。
- 9, 沖縄の復帰後の統治体制の本質、沖縄振興開発体制の本質は何か。
- 10, 沖縄振興体制＝補償型政治がいかんにして導入されたか。

以上について理解し、論理的に述べることできる。

評価基準と評価方法

毎授業ごとに課せられた課題についての回答またはレジュメを評価する（40パーセント）。
授業態度、授業への貢献度、話し合いへの参加態度、発言の論理性、プレゼンテーションの内容を評価する（30パーセント）。
最終レポートによって、授業全体の理解度を評価する(30パーセント)

履修条件

琉球史、沖縄史に興味があること。事前にまたは同時並行的に、1945年以前の琉球史、近代沖縄史を学んでおくこと。
この授業は、原則対面となります。対面とオンラインの同時実施はしません。

大学の要請により、オンライン授業実施に移行する場合がありますので、ウェブクラスを確認するようにお願いします。
月曜日の5限の時間帯に教育学部棟313島袋研究室となりのゼミ室にて行いますので、そこに参加できることが条件です。

■ 授業計画

- 1, 「琉球処分」とは何か、日本による沖縄の統治の開始
- 2, 土地整理事業の意味
- 3, 日本政府と日本軍による沖縄戦と沖縄の扱い、
- 4, 米軍による沖縄統治とGHQによる日本統治とはなにがどう違うのか。
- 5, 戦後憲法制定過程からの沖縄排除と天皇メッセージ
- 6, サンフランシスコ講和条約3条の意味
- 7, 米軍支配下の沖縄の統治構造はどうなっていたのか。
- 8, 島ぐるみ闘争と権利の覚醒
- 9, 国際自由労連と沖縄
- 10, 自治権闘争と保守分裂
- 11, 68年体制の確立
- 12, 沖縄返還協定と建議書
- 13, 日米両政府は、なぜ沖縄の施政権返還を実施したか、その目的は何か
- 14, 沖縄の復帰後の統治体制の本質、沖縄振興開発体制の本質は何か。
- 15, 沖縄振興体制 = 補償型政治がいかにして導入されたか。1, 1944年45年 なぜ沖縄戦が、、、

■ 事前学習

授業の開始前には参考書指定の沖縄現代史を熟読し、歴史の流れを把握しておくこと。

授業ごとに、論文や著作の箇所を指定してレジュメの作成を事前課題として要求することもある。その場合は事前学習としてレジュメの作成と発表準備を行うこと。

■ 事後学習

配布されたプリント及び参考書を再読し、理解を深めること

■ 教科書にかかわる情報

教科書	書名	沖縄エンパワーメント			ISBN	備考
	著者名	沖縄自治構想会議（島袋純・佐藤学・星野英一）				
	出版社	沖縄自治構想会議	出版年	2018	NCID	

■ 教科書全体備考

教科書に指定した著作は、現在以下のURLにあり、無料でダウンロード可能となっている。<https://okijichi.blogspot.com/2018/06/pdf.html>

■ 参考書にかかわる情報

■ 参考書全体備考

島袋純『「沖縄振興体制」を問う―壊された自治とその再生を目指して―』法律文化社2014年、新崎盛暉『沖縄現代史』岩波書店

■ 使用言語

日本語

■ メッセージ

■ ■ オフィスアワー

月曜日4時間目研究室にて、事前にメールが必要。

■ ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

■ ■ URL